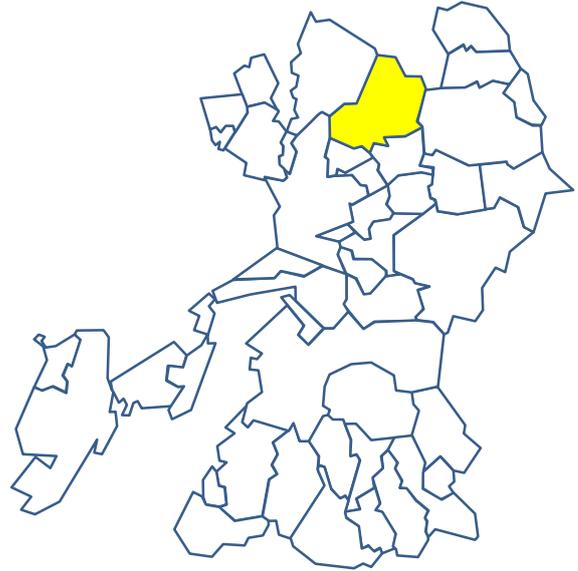


保険者を訪ねて

# 癒しの里 菊池市



《菊池市の概要》

人 口	49,188 人	
国保被保険者数	13,474 人	
一般	13,377 人	
退職	97 人	
後期高齢者数	8,456 人	
世 帯 数	19,161 世帯	
国保世帯数	7,465 世帯	
医療機関等数	医科	37 機関
	歯科	22 機関
	調剤薬局	17 薬局

(平成 30 年 6 月末現在)

担 当 課	健康推進課	
	職員	非常勤職員等
健康推進課		
課長	1 人	-
総務審議員	1 人	-
課長補佐	1 人	-
国民健康保険係	5 人	4 人
高齢者医療・年金係	3 人	1 人
健康推進係	7 人	4 人

菊池市は熊本県北東部に位置し、北部から東部にかけて阿蘇外輪山を含む山岳が連なる地勢です。平野部は山からの豊富な水が河川となり流れ込むため肥沃な土地が広がり、この恵まれた資源を活かした農林畜産業が盛んです。

菊池市内には自然や歴史、伝統を物語る観光名所が多くあり、中でも菊池川の源流をなす菊池溪谷は日本名水百選にも選ばれるなど観光客が訪れる人気スポットです。また、日本の名湯百選に選ばれた菊池温泉など多くの温泉があるほか、桜やコスモス、ホテルの名所も各地にあり、四季折々に豊かな自然を楽しめます。

今回は、菊池市の国保の状況や特定健診の取り組み、菊池市独自の活動について、お話しを伺いました。



原口保健師（左）吉里係長（中）川口参事（右）



職場風景

一医療費適正化のためにどのような取り組みをされていますか？

(吉里係長)

菊池市では、平成 25 年から被保険者証更新通知時に「ジェネリック医薬品希望シール」と「国保ハンドブック」を同封しており、ジェネリック医薬品の数量シェアは年々上昇しています。現在では、ジェネリック医薬品が定着しつつあり、「ジェネリック医薬品希望シール」を被保険者証に貼っていただいている方が多数見受けられます。国が示すジェネリック医薬品数量シェア 80%の目標を達成するため、医療機関と保険者が連携し、シェア向上に励まなければならないと考えています。



(原口保健師)

頻回・多受診の対象者を抽出し、これまで直営で訪問指導を行っていましたが、平成 29 年度より外部委託による訪問指導に切り替え実施しています。委託業者には、熊本県国保連合会が抽出した多受診者一覧表を基に菊池市で独自作成した「対象者一覧表」を使用し、訪問指導を実施しています。平成 29 年度は、訪問指導実績が 90%近くありました。今年度は訪問指導実績だけでなく、多受診者減少に向け取り組んでいきます。

(坂本係長)

国民健康保険税の収納率は、平成 29 年度で約 94.57%と県内でも低いため、被保険者に合った様々な方法で保険税収納を呼びかけています。現在行っている保険税収納率向上のための取り組みは、①滞納者の財産調査の強化 ②滞納処分の早期着手 ③口座振替の推進です。②については、過年度滞納の有無に関わらず現年度分を最優先に徴収するよう心がけています。

現在、インターネットを活用した口座振替の申し込みができるような仕組みづくりを検討しています。被保険者の方が少しでも保険税を納めやすいような仕組みづくりが大切であると考え、職員一同、アイデアを出し合いながら業務に励んでいます。

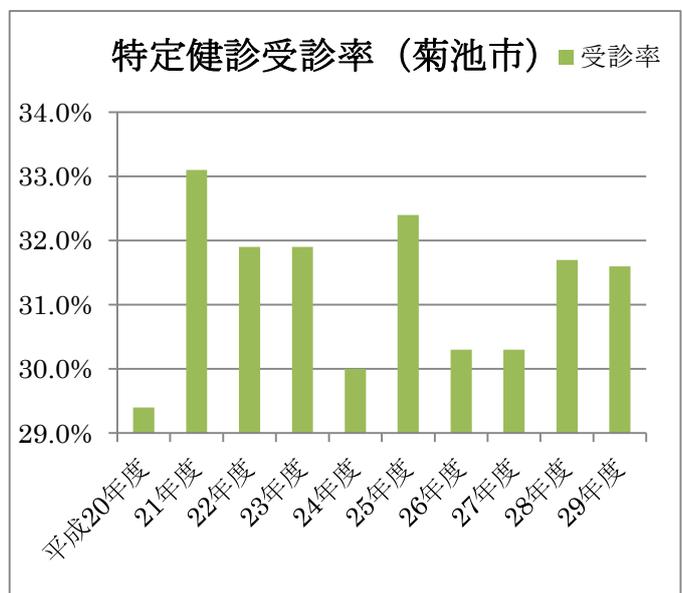
一特定健診の取り組みについて聞かせてください。

(川口参事)

菊池市では特定健診を集団健診・個別健診・人間ドックで実施しています。集団健診は 8 月から 10 月にかけて菊池養生園保健組合で実施します。集団健診実施後には菊池市と菊池養生園のスタッフでカンファレンスを行い、当日の健診の実施体制や受診者からの要望などについて話し合い、課題を次に持ち越さないよう努めています。

平成 29 年度の特定健診受診率は 31.6% (暫定値) で、大きく伸びない状況ではありますが、ここ数年は 31%以上を維持しています。

リピーター率も高いですが、数年に一度という人もみられるので、毎年受けてもらえるよう受診勧奨に力を入れています。治療中の人に関しては、病院にかかっていることを理由に受診しないことも多いため、医療機関からも、特定健診を受けることによるメリットなどを伝えていただくようお願いしています。目標を達成するために職員で受診を促すアイデアを出し合っています。



－健康増進を目的とした菊池市独自のイベントについて教えてください。

（原口保健師）

今年度も引き続き「いきいき養生塾」「血糖下げようセミナー」を開催します。「いきいき養生塾」は、特定健診で異常があった人を対象に呼びかけを行い6月から8月にかけて行いました。また、「血糖下げようセミナー」では、健診のデータを用いて血糖値について自身の現状を把握するなど、血糖値に焦点を当てています。平成31年は1月から3月に定員30人、受講料は1,000円で週1回行う予定です。全10回のうち開講時と閉講時に血圧などを測定して効果を見ていますが、多くの人でメタボが改善されています。さらに閉講後もセミナーで学んだことを継続し実行してもらえよう、4週間後にも効果測定しています。これらのセミナーは市内各地域から参加があり、人気のあるセミナーで参加者からも参加によって効果が出たなど嬉しい言葉をたくさんいただいています。

（川口参事）

また、菊池市では、平成29年度に「健康づくり都市宣言」を行い、「健康」をキーワードに関係部署や地域と連携し、健康づくりを進めています。その他にも、地域おこし協力隊（健康プランナー）を中心に「健康ノルディック教室」や「足湯を使った健康教室」、「地区の健康活動支援」を行っており、今後は「健康ポイント事業」も予定しており、各課が実施するイベントを通して、これからも市民の健康づくりに役立ち、医療費の削減につながることを期待しています。

－菊池市が近年、力を入れて取り組んでいることやまちの見どころを教えてください

菊池溪谷が2年ぶりに入谷の再開

（吉里係長）

熊本地震により被災し、閉鎖しておりました菊池溪谷が平成30年3月24日（土）に約2年ぶりに入谷を再開しました。菊池川の源流をなす菊池溪谷は、うっそうとした天然広葉樹で覆われ、その間を流れる溪流が大小様々な瀬や滝をつくり、その変化に富む姿は絶景です。夏の菊池溪谷は、天然クーラーと称され平均水温は13度と低く、身を切るような清流は避暑地として最適であり、マイナスイオンをたっぷり浴びて木陰で涼しい1日を過ごすことができます。



また、夏とはがらりと表情を変える秋は、紅葉と溪流の織り成す景色がまるで絵画の中に迷い込んだような世界が広がります。ぜひ、ご家族、ご友人とお誘い合ってお越しください、久しぶりの菊池溪谷をお楽しみください。



# 菊池まるごと市場



## (菊池市公式ネットショップ)



### (川口参事)

菊池まるごと市場は、菊池市の公式ネットショップとして、菊池市から清涼で豊かな水資源と肥沃な大地で育った魅力あふれる農林畜産物の数々を独自の安全基準「菊池基準」に基づいて、全国の皆様にお届けしております。

菊池まるごと市場には①**新鮮**②**美味しい**③**安心・安全**の3つのこだわりがあります。



まず「①**新鮮**」とは、朝採り野菜、新鮮なお肉など、鮮度にこだわった食材をお届け、お米や野菜、お肉など全てメイドイン菊池です。野菜は朝採り、お肉も地域で加工したもののだからフレッシュなものを冷蔵でお届けすることができるので、本気で鮮度が違います。

次に「②**美味しい**」は、阿蘇外輪山に源流をもつ、ミネラル分を含んだ豊富な伏流水と阿蘇カルデラの火山灰土壌。そして、適度な昼夜の気温差。水、土、気温の3拍子に加え、農家の皆さんが持つ確かな技術と愛情込めた育成により美味しい食材が育ちます。

最後に「③**安心・安全**」とは、菊池市では食べる方の安心・安全を第一に考えながら、豊かな環境を守り続ける農業を推進しており、平成24年10月に農産物に対して、菊池市の農産物生産に関する安心・安全な基準宣言「通称：菊池基準」を設けました。菊池まるごと市場で取り扱う農産物は、菊池市認定の「菊池基準」をクリアしたお墨付きの商品ばかりとなっておりますので、是非ご利用ください。